

事業年度 毎年2月1日から翌年1月31日まで

定時株主総会 毎年4月下旬

基準日 毎年1月31日

単元株式数 普通株式 100株

公告方法 電子公告

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL <http://www.ishiihyoki.co.jp/>

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

TEL 0120-094-777 (通話料無料)

【ご注意】

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



株式会社 石井表記

住 所 広島県福山市神辺町旭丘5番地

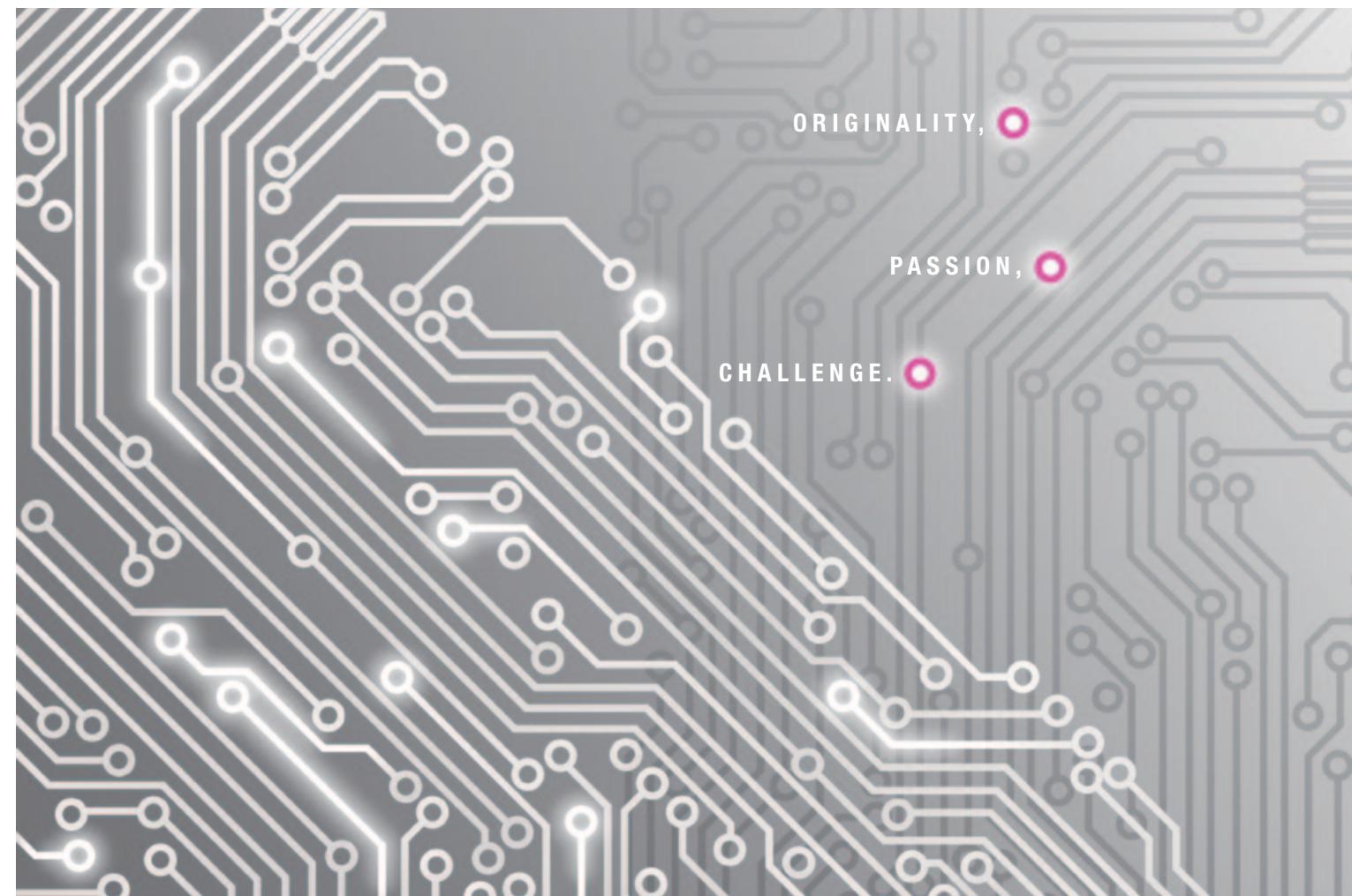
電 話 番 号 084-960-1247 (代表)

F A X 番 号 084-960-1010

ホームページ <http://www.ishiihyoki.co.jp/>



第44期 報告書
平成28年2月1日 ▶ 平成29年1月31日



有望市場への営業展開、コスト削減の推進、新製品の開発を積極的に行います。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当連結会計年度（平成28年2月1日から平成29年1月31日まで）の事業をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、一部に改善の遅れもみられますが、緩やかな回復基調が続いております。

先行きにつきましては、雇用、所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

当社グループの属する電子機器業界のIT、デジタル分野におきましては、テレビの市場については中国における設備投資の拡大に加え、スマートフォンやタブレット端末などは引き続き旺盛な需要を背景に市場が拡大することが期待されております。

このような環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら積極的に営業展開を行い、顧客ニーズに応えるべく製品等の改良施策を推進してまいりました。

今後につきましても、スマートフォンやタブレット端末等に多用され市場の拡大が期待されるフレキシブル基板向け製造装置への事業参入を図るなど、有望市場への営業展開、コスト削減の推進、新製品の開発を積極的に行い、全社一丸となって収益性の改善を行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年4月

代表取締役会長兼社長 石井 峯夫

「独創的」な製品作りに情熱を持って「挑戦」し、
会社と社員の永遠の幸福を目指します。

1 世界一の技術集団として
永遠の成長を目指します

2 「人」を大切にし、
活躍の場を提供します

3 地域に根ざした
企業活動を通じ、
経済社会に貢献します

経営哲学

倫理観の共有

企業文化・風土

コンプライアンス
内部統制・コーポレートガバナンス

企業価値の向上

Vision・会社方針

高収益の技術集団

顧客を継続的に創造し、
社員に夢を持たせる

安定と成長、
キャッシュ・フロー経営の強化

① 製造業の原点回帰（実力力）

② 適時、適材、適所

③ ボーダレス経営

④ 事業の選択と集中

電子機器部品製造装置

売上高 **24億91** 百万円 前期比 **31.0%**
 営業損失 **60** 百万円 前期比 **—**

[プリント基板分野]

●直接営業に重点をおいた受注活動を海外子会社の活用や代理店との連携を行いながら進めてまいりました。また、平成28年8月には、スマートフォンやタブレット端末等に多用され市場の拡大が期待されるフレキシブル基板向けの装置に関連した技術を有する株式会社CAPを取得・子会社化し、プリント基板向け製造装置事業の拡大を図っておりますが、効果が出るまでには時間を要し、当連結会計年度では売上高は減少いたしました。

[液晶関連分野]

●設備投資の谷間となっておりますが、有力液晶パネルメーカー向けとなるインクジェットコーターの大口受注を得ることができました。しかしながら、売上予定時期は来期以降となり、売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は24億91百万円（前連結会計年度比31.0%減）、営業損失は60百万円（前連結会計年度は4億20百万円の営業利益）となりました。

売上高／営業利益（△損失）（単位：百万円）



HS研磨機



インクジェットコーター



FBC研磨機



アクアクリーンシステム

[主要製品]

- HS研磨機 ● FBC研磨機 ● インクジェットコーター
- 極薄基板用研磨機 ● 新型超音波洗浄機 ● アクアクリーンシステム
- セラミックジェットスクラブ機 ● 極薄基板用水洗乾燥機

ディスプレイおよび電子部品

売上高 **69億1** 百万円 前期比 **19.1%**
 営業利益 **6億54** 百万円 前期比 **105.0%**

[アミューズメント向け部品分野]

●売上高は前年と比較し減少いたしました。これは、パチスロの稼働状況が低下し、当社得意先の生産量が減少したことによるものであります。

[工作機械および産業用機械分野]

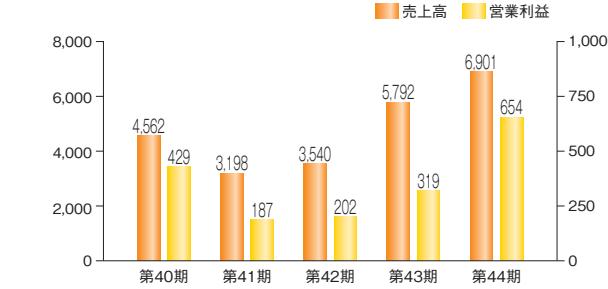
●売上が低調に推移し、売上高は前年を下回りました。製販体制の強化として人員配置の見直しおよび中途社員の採用を実施しており、引き続き取り組みを継続してまいります。また、新分野である自動車向け印刷製品の本格的な生産を開始し、順調に推移いたしました。

[その他]

●子会社である上海賽路客電子有限公司において積極的な営業活動と生産の合理化を進めた結果、増収・増益となりました。

その結果、売上高は69億1百万円（前連結会計年度比19.1%増）、営業利益は6億54百万円（前連結会計年度比105.0%増）となりました。

売上高／営業利益（単位：百万円）



○GOP液晶システム



○スイッチパネル・ユニット製品



○シルク印刷・ラベル印刷・アルマイト銘板

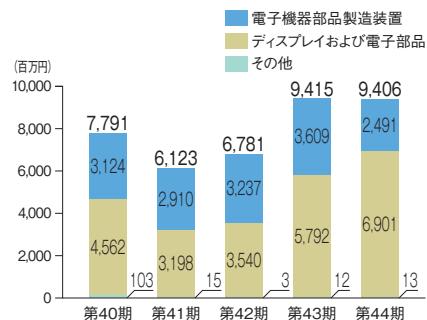


○フィルム形成



| | 第40期 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 |
|---------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 売上高 (千円) | 7,791,285 | 6,123,666 | 6,781,529 | 9,415,128 | 9,406,534 |
| 営業利益 (△損失) (千円) | △14,903 | △18,938 | 654,116 | 739,467 | 593,642 |
| 経常利益 (△損失) (千円) | △105,025 | △91,683 | 567,030 | 660,890 | 416,910 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(△損失) (千円) | 812,996 | △100,366 | 953,762 | 609,225 | 483,124 |
| 純資産額 (千円) | 480,007 | 415,602 | 1,715,285 | 2,339,133 | 1,837,639 |
| 総資産額 (千円) | 10,730,776 | 10,167,311 | 12,264,036 | 11,374,033 | 12,273,664 |
| 1株当たり純資産額 (円) | △166.41 | △167.92 | △6.49 | 72.10 | 106.05 |
| 1株当たり当期純利益 (△損失) (円) | 102.34 | △15.73 | 117.69 | 72.16 | 57.91 |
| 総資産当期純利益率 (ROA) (%) | 7.58 | — | 7.78 | 5.36 | 3.94 |

事業の種類別売上高



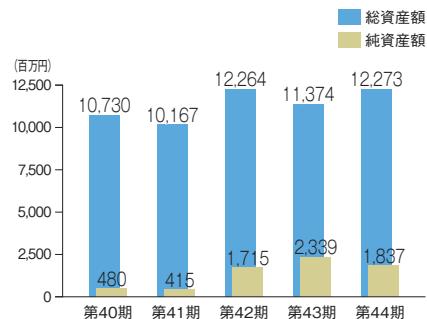
経常利益(△損失)／売上高経常利益率



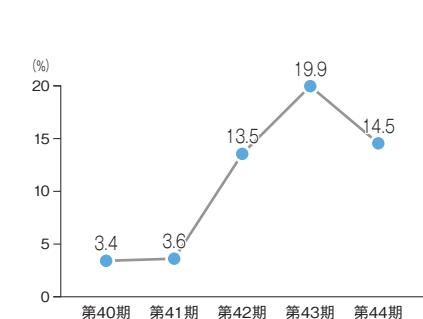
親会社株主に帰属する当期純利益(△損失)／1株当たり当期純利益(△損失)



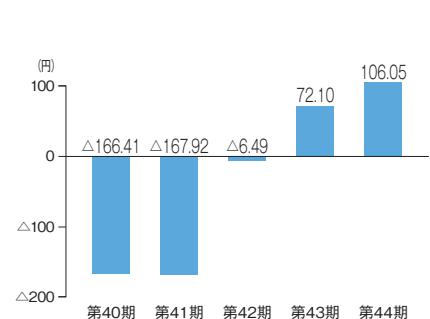
総資産額／純資産額



自己資本比率



1株当たり純資産額



「継続企業の前提に関する注記」の記載解消

当社グループは、取引金融機関から返済条件の緩和（支払余力に応じたプロラタ返済）を受けていたことから、前連結会計年度末には、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりました。

当該状況を解消するため、当社グループは、借入金等のリファイナンスを行い借入先金融機関との取引が正常化すると同時に、平成28年5月31日に返済条件の緩和を受けた借入金等5,735,329千円的全額返済を行い、取引金融機関からの金融支援（返済条件緩和）が終了いたしました。

その結果、当連結会計年度において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしました。

株式会社CAPの子会社化

当社は、平成28年8月に株式会社CAP（以下、CAP）を子会社化いたしました。

CAPは、フレキシブル基板製造装置の技術を有しており、特にメッキ技術、ロール・ツー・ロールによる搬送技術等に技術的なアドバンテージがあります。そのため、CAPを当社グループに迎えることでフレキシブル基板製造装置を自社開発するよりも開発コストや開発期間等を大幅に削減することが可能となり、当社グループとしてプリント基板向け製造装置事業の拡大を図ることができます。

また、当社保有技術とCAP保有技術のシナジー効果として、CAPのロール・ツー・ロールによる搬送技術を当社プリント基板製造装置、インクジェット装置への採用や当社技術をCAPの装置に採用するなど、個々では対応ができなかった新装置の開発が可能になると考えております。

今後、当社グループの重要な拠点として更なる成長を目指し、事業活動に邁進してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：千円)

| 科目 | 当期末 (平成29年1月31日現在) | 前期末 (平成28年1月31日現在) |
|-------------|-----------------------|-----------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 7,113,405 | 5,985,036 |
| 固定資産 | 5,160,259 | 5,388,997 |
| 資産合計 | 12,273,664 | 11,374,033 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 5,710,747 | 7,564,108 |
| 固定負債 | 4,725,277 | 1,470,791 |
| 負債合計 | 10,436,025 | 9,034,900 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 2,046,171 | 2,384,965 |
| 資本金 | 300,000 | 300,000 |
| 資本剰余金 | 6,824,825 | 7,646,744 |
| 利益剰余金 | △ 5,058,814 | △ 5,541,938 |
| 自己株式 | △ 19,839 | △ 19,839 |
| その他の包括利益累計額 | △ 270,531 | △ 117,021 |
| 非支配株主持分 | 61,999 | 71,189 |
| 純資産合計 | 1,837,639 | 2,339,133 |
| 負債純資産合計 | 12,273,664 | 11,374,033 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

① 負債

当社は金融支援を終結させ、運転資金を安定的かつ効率的に調達するため取引銀行5行とシンジケートローン契約を締結し、返済条件緩和を受けていた借入金等（57億35百万円）を返済しました。当連結会計年度末のシンジケートローン契約の借入残高は54億94百万円であります。

② 純資産

当社がA種優先株式の全部を取得し、これを全部消却したこと等により前連結会計年度末に比べ5億1百万円減少しました。この結果自己資本比率は14.5%になりました。

連結損益計算書

(単位：千円)

| 科目 | 当期 (平成28年2月1日から 平成29年1月31日まで) | 前期 (平成27年2月1日から 平成28年1月31日まで) |
|-----------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高 | 9,406,534 | 9,415,128 |
| 売上原価 | 6,872,421 | 6,699,113 |
| 売上総利益 | 2,534,113 | 2,716,015 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,940,470 | 1,976,548 |
| 営業利益 | 593,642 | 739,467 |
| 営業外収益 | 46,542 | 94,524 |
| 営業外費用 | 223,274 | 173,101 |
| 経常利益 | 416,910 | 660,890 |
| 特別利益 | 74,814 | 79,962 |
| 特別損失 | 29,835 | 14,071 |
| 税金等調整前当期純利益 | 461,890 | 726,780 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 150,218 | 79,719 |
| 法人税等調整額 | △ 177,219 | 25,260 |
| 当期純利益 | 488,891 | 621,800 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 5,767 | 12,574 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 483,124 | 609,225 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

③ 営業利益、経常利益

上海賽路客電子有限公司は増益となりましたが、当社においてインクジェットコーターの販売が減少したことなどから前連結会計年度に比べ減益となりました。

個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

個別貸借対照表

(単位：千円)

| 科目 | 当期末 (平成29年1月31日現在) | 前期末 (平成28年1月31日現在) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 4,872,828 | 4,377,480 |
| 固定資産 | 5,328,209 | 5,395,982 |
| 資産合計 | 10,201,037 | 9,773,462 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 4,271,335 | 6,601,210 |
| 固定負債 | 4,598,435 | 1,366,902 |
| 負債合計 | 8,869,771 | 7,968,113 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 1,301,719 | 1,759,194 |
| 資本金 | 300,000 | 300,000 |
| 資本剰余金 | 6,824,825 | 7,646,744 |
| 利益剰余金 | △ 5,803,265 | △ 6,167,709 |
| 自己株式 | △ 19,839 | △ 19,839 |
| 評価・換算差額等 | 29,547 | 46,154 |
| その他有価証券評価差額金 | 29,547 | 46,154 |
| 純資産合計 | 1,331,266 | 1,805,349 |
| 負債純資産合計 | 10,201,037 | 9,773,462 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

④ 負債

金融支援を終結させ、運転資金を安定的かつ効率的に調達するため取引銀行5行とシンジケートローン契約を締結し、返済条件緩和を受けていた借入金等（57億35百万円）を返済しました。当事業年度末のシンジケートローン契約の借入残高は54億94百万円であります。

⑤ 純資産

A種優先株式の全部を取得し、これを全部消却したこと等により前事業年度末に比べ4億74百万円減少しました。この結果自己資本比率は13.1%になりました。

個別損益計算書

(単位：千円)

| 科目 | 当期 (平成28年2月1日から 平成29年1月31日まで) | 前期 (平成27年2月1日から 平成28年1月31日まで) |
|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高 | 5,995,623 | 6,352,189 |
| 売上原価 | 4,198,573 | 4,284,330 |
| 売上総利益 | 1,797,050 | 2,067,858 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,548,067 | 1,600,277 |
| 営業利益 | 248,983 | 467,581 |
| 営業外収益 | 148,646 | 127,299 |
| 営業外費用 | 214,094 | 147,834 |
| 経常利益 | 183,535 | 447,046 |
| 特別利益 | 73,894 | 79,962 |
| 特別損失 | 13,945 | 1,568 |
| 税引前当期純利益 | 243,484 | 525,440 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 51,205 | 27,494 |
| 法人税等調整額 | △ 172,164 | △ 10,547 |
| 当期純利益 | 364,443 | 508,493 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

⑥ 売上高、営業利益、経常利益

新規事業分野である自動車向け印刷製品の実績は堅調に推移しましたが、プリント基板製造装置、インクジェットコーターの販売が減少したことなどから前事業年度に比べ減収、減益となりました。

| | |
|------|---|
| 商号 | 株式会社石井表記 |
| 設立 | 昭和48年4月 |
| 資本金 | 300,000,000円 |
| 本社 | 広島県福山市神辺町旭丘5番地 |
| 営業所 | 東京支店（東京都板橋区） 千葉営業所（千葉県市川市） 横浜営業所（神奈川県川崎市） 名古屋営業所（愛知県一宮市） 大阪営業所（大阪府吹田市） 滋賀営業所（滋賀県草津市） 明石営業所（兵庫県明石市） 広島営業所（広島県安芸郡） |
| 従業員数 | 305名（連結 541名） |
| 関係会社 | 国内 株式会社CAP 海外 JPN, INC.（フィリピン） ISHII HYOKI (SUZHOU) CO., LTD.（中国） 上海賽路客電子有限公司（中国） |



ホームページのお知らせ

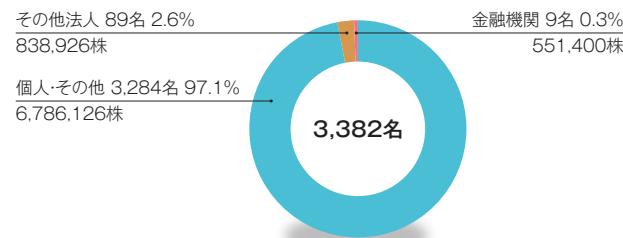
<http://www.ishiihyoki.co.jp/>

ホームページにアクセスしていただきますと、
当社の各種情報をご覧いただけます。

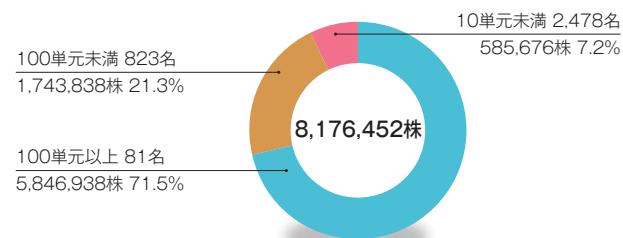
取締役および監査役（平成29年4月25日現在）

| | |
|------------|---------|
| 代表取締役会長兼社長 | 石井 峯 夫 |
| 専務取締役 | 平坂 晋 二 |
| 常務取締役 | 渡邊 伸 樹 |
| 取締役 | 山本 晋 宏 |
| 取締役 | 山下 敦 史 |
| 取締役（社外） | 石井 裕 工 |
| 取締役（社外） | 本田 祐 二 |
| 常勤監査役 | 小沢 康 博 |
| 監査役（社外） | 松浦 勇 三 |
| 監査役（社外） | 森 末 辰 彦 |

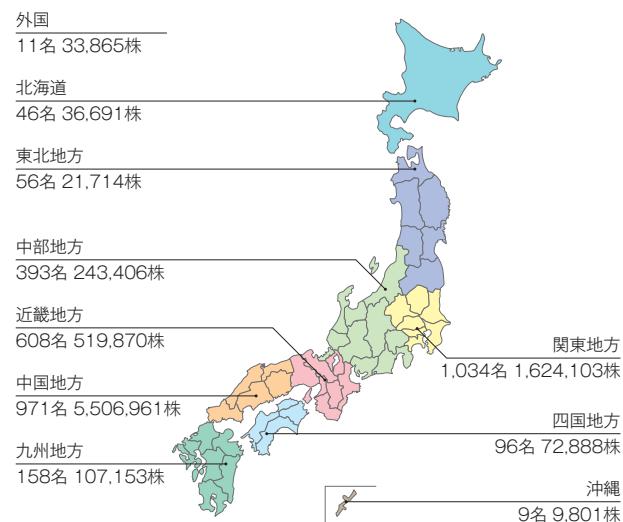
所有者別株主分布状況（普通株式）



所有株式数別株式分布状況（普通株式）



地域別株式分布状況（普通株式）



| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 31,810,831株 |
| 株式数 | |
| 発行済株式総数 | 8,266,452株 |
| 普通株式 | 8,176,452株 |
| B種優先株式 | 90,000株 |
| 株主数 | |
| 普通株式 | 3,382名 |
| B種優先株式 | 2名 |

大株主（上位10名）

| 株主名 | 所有株式数 | 持株比率 |
|---------------|-------------|---------|
| 石井 峯 夫 | 1,908,446 株 | 23.41 % |
| 石井 敏 博 | 615,000 | 7.54 |
| イシイヒョーキ従業員持株会 | 563,766 | 6.91 |
| 楽天証券株式会社 | 183,800 | 2.25 |
| 石井 幸 蔵 | 167,060 | 2.05 |
| 石井 博 幸 | 161,380 | 1.98 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 144,000 | 1.77 |
| 石井 朋 子 | 138,240 | 1.70 |
| 株式会社広島銀行 | 110,000 | 1.35 |
| 株式会社もみじ銀行 | 108,000 | 1.32 |

(注) 所有株式数は、普通株式のみ表示しており、持株比率は普通株式の発行済株式総数から自己株式（23,113株）を控除して計算しております。